

特別支援学校

教科【外国語科】

単元【話すこと・読むこと】※遠隔授業を想定

主体的・対話的で
深い学びのポイント

クラウドサービス等を効果的に活用することにより、題材についての主体的な学びを促し、自ら表現し、他者と協働しながら取り組む。

ICT活用のポイント

生徒が自ら課題に取り組むことができるよう、iPadの画面上で簡易に操作することができる教材を作成したり、Google Classroomを活用したりする。

使用する
ICT機器

タブレット端末（iPad）

使用するアプリ・
クラウドサービス等

Google Workspace for Education

クラウド
の活用教材の配布・回収等
生徒の学習状況の把握資料等の共有
その他（ ）本時の
ねらい

生徒が題材に興味・関心をもち、自ら進んで学習に取り組むことができる。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

○前時の内容と
本時の目標を
確認する。

一斉

・ Google Classroomにアクセスし、前時の
内容と本時の目標を確認する。

ICT機器

クラウド

指針3



展開

○課題を行う。

個別

協働

・ Googleスライドにアクセスし、他者とコ
メントを共有しながら、課題に取り組む。
※教材は簡易な操作で実施することができ
よう留意する。

ICT機器

指針5



ここで評価

【思】他者の意
見を踏まえて自
分の考えを広げ
深めている。○課題の提出を
行う。

個別

・ 実施後、Google Classroomで提出する。
・ 提出された課題について、質問をしたり、
Google Classroomで返却したりする。

クラウド

終末

○本時の振り返り
を行う。

個別

・ Googleスライドにアクセスし、カードめ
くりゲームを行い、本時で学習した英単
語を確認する。

ICT機器

クラウド

指針2

【態】自ら本時
の学習の振り返
りを行い、次回
の学習に意欲を
もつことができ
ている。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】=知識・技能 【思】=思考・判断・表現 【態】=主体的に学習に取り組む態度